

おフランスから到着 サメ映画の金字塔『ジョーズ』に オマージュを捧げる エスプリの効いた前代未聞の シャーク・ムービー登場!



鮮やかで、奇妙で、スタイリッシュ フランス映画史上初のサメ映画は、他のサメ映画とちょっと違う!?

サメ映画の金字塔『ジョーズ』(75/スティーヴン・スピルバーグ監督)にオマージュを捧げるフランス発のちょっとユニークなシャーク・ムービーが上陸。ルドヴィック&ゾラン・ブケルマの双子監督は、引退を間近に控えた海上警察官を主人公にするなど、『ジョーズ』にインスパイアされながらも、現代的な風刺を効かせ、他のサメ映画とは一線を画す、スタイリッシュでオフビートなコメディ映画として作り上げた。これが記念すべき、フランス“サメ映画”元年の始まりである。



前作が、第73回カンヌ国際映画祭のオフィシャルセレクションに選出 期待の双子監督ルドヴィック&ゾラン・ブケルマの最新作

前作『テディ』(20)が第73回カンヌ国際映画祭オフィシャルセレクションに選ばれ、日本でも第12回マイ・フレンチ・フィルム・フェスティバルで披露された、ルドヴィック&ゾラン・ブケルマ監督の最新作。何気ない日常が続く中で突然、人間が何者かに襲われるという不穏な違和感を出すのが特徴で、独特のノワールの世界観とスタイリッシュな映像で描くホラー&コメディの作品を作り続けている。サメの恐怖に支配されるだけでなく、人間の不条理さを描いた本作は、彼らの個性が発揮された渾身の一本だ。



STORY

舞台はフランス南西部にあるリゾート地ラ・ポワント。ある日、この小さな村の美しい海で正体不明の怪物に襲われた男性が発見される。観光客で賑わうビーチは大パニックとなり、閉鎖されることに。そんな時、早期退職を予定していた海上警察官の一員マジャはこれがサメの仕業であると推測。最後の任務としてサメ退治に挑む。その後、勇敢な彼女はサメの捕獲に成功し、地元の人からも祝福され引退。しかし、新たに遺体の一部が発見され、海岸地帯は再び警戒態勢に! マジャは地元の人たちから非難を浴び、立場が一転。そして彼女は再び、“サメ退治”に向かう。



監督/脚本:ルドヴィック・ブケルマ、ゾラン・ブケルマ 撮影:ダヴィ・カイエ 美術:ジェレミー・デュシエ 特殊効果:パスカル・モリーナ 音楽:アモリー・シャポティ

出演:マリナ・フォイス、カド・メラッド、ジャン=パスカル・ザディ、クリスティーヌ・ゴティエ

2022年/フランス/87分/カラー/ビスタ/5.1CH/原題:L'ANNÉE DU REQUIN / 英題:YEAR OF THE SHARK / 日本語字幕:白取美雪/配給:アンプラグド

© BAXTER FILMS - LES FILMS VELVET - FRANCE 3 CINÉMA - 2022

Twitter:@sharkfrance Instagram:@unplugged_movie Tiktok:@unpfilm Facebook:@unpfilm.inc 劇場情報:unpfilm.com/sharkfrance

8.11 金祝 シャーク退治 シルブプレ!
s'il vous plaît

JR新宿駅東南口GAP並びNOWAビルB1F

新宿 シネマカリテ
03(3352)5645